

ハジチ由来

具志堅 タケ (1914・T3) 字儀間 (01 : 28)

ハジチぬ由来や、昔よー唐旅しみしえーんち。
昔ぬあぬー、唐旅しみしえーんりしえーなー、じこ
ぬ名誉、な偉い役人やみしえーてーるばーてー。
あんし、うぬ人が唐旅かいめんしえーに、船んかい、
あぬー白鳥が止まていさぐと、^{しるどや}「船ぬ艦綱に
白鳥が座ちよーん」^{しるどや}でいさぐと。^あ「白鳥やあら
ん ウナイ神ど」^{がみ}んち、^{けー}返しみそーちゃんてい。
あんさぐと、^{くんど}今度おうぬ人お唐旅えしみそーち帰
りに、^{なんせんあ}あぬー難船遭たやーに、^{かじふ}風吹ち遭たやーに、^あう
ぬ船えいっけーらさつてい。^{ふね}さぐと、^{くんどー}今度なうぬ
人達や、^{ちゆたー}な死ぬさやーり思とぬばーに。^しうぬ夢う
つつそーぬとくるんかい、^{うむ}女んかいかんしひち起く
さつていうぬ船え、^{ゆめ}くぶりとぬ船るやしが起くさり
やーに、^{ふに}うぬ船んかい^ぬ乗りそーちゃんり。

さぐと、^ううぬ起くさつたぬうれー女^{あなぐ}なやーに、ち
ようど^ちハジチ突ち、^{ていー}うぬ手^ちやむるハジチ突ちよーみ
しえーたんでい。^{ちゆ}さぐと、^{たし}くれーうぬ人おうぬ助き
らつたぬ恩義とさーに、^{うんじ}あぬー唐旅から帰ていめん
そーち家んかい来ぐと、^{とうたひ}すぐ妻^{けー}ん達^うウナイん^ち達
んかい、^ちむるハジチ突ち。^{はじ}うりからハジチりし始また
んでいぬくとやしが。

あんすと、^{うた}うぬ歌^{むの}やたんてーまん、^{いー}物^いおあぬー言
よーなむんち。^{しるどやー}あぬ白鳥^{やく}でいしえー厄^{やく}やてーしが、
「^{ふに}船ぬ艦綱^{しるどや}に^あ白鳥^あが座^あちよーん」^ありちさぐと、
「^{しるどや}白鳥^あやあらん^{がみ} ウナイ神^あど」^{くとうばけー}んち、^あうぬ言葉返
ちやしーな^{たし}かい^{はなしー}助か^あたんていぬ話^あやしが。
くりから^{うちなー}沖繩^{はじ}ぬハジチえ^あ始またんりく^あと。

【共通語訳】

ハジチの始まりの話だよ。

昔は、唐旅をするということは、たいそう名誉なこと
で、偉い役人しか行けなかった。

ある時、役人が唐旅へ行く船上で、船の艦(船尾)に
白い鳥が止まった。それを見た誰かが、「船の艦綱に白
い鳥が止まっているよ」と歌ったので、「白い鳥ではな
い、ウナイ神だよ」と、その役人が歌を返したようだ。

その後、唐での仕事を終えての帰り、役人の乗った船
は暴風に遭いひっくり返されてしまった。海中に放り
出された役人たちは、これまでの命かと意識を失いか
けていると、女の人に引き上げられたそう。転覆した
船も起こしてくれ、引き上げられた役人たちは再び船
上に戻る事ができた。

その時、船を起こしてくれた女の人の手には、ハジチ
がいっぱい突いてあったんだって。それで、その役人は
助けてくれたことに感謝し、唐旅から戻って家に着く
と、すぐに妻や姉妹たちにハジチを突かせたわけさ。そ
れからハジチというのが始まったということだよ。

また、その歌からも分かるように、言葉は使いようで
ね。縁起が悪いといわれている白い鳥を見て、「船の艦
綱に白い鳥が止まっているよ」と、誰かが歌った。それ
を聞いて、「白い鳥ではない、ウナイ神だよ」と、その
言葉を返したことで助かったという話だよ。

それから、沖縄のハジチは始まったということさ。